シンポジューム　全自・日産53年争議
――半世紀後の総括と課題――

プログラム

1. 講演　木下武男（昭和女子大学教授）
「全自型賃金の到達点とその現代的意義」（仮題）

2. 53年争議参加者とのディスカッション

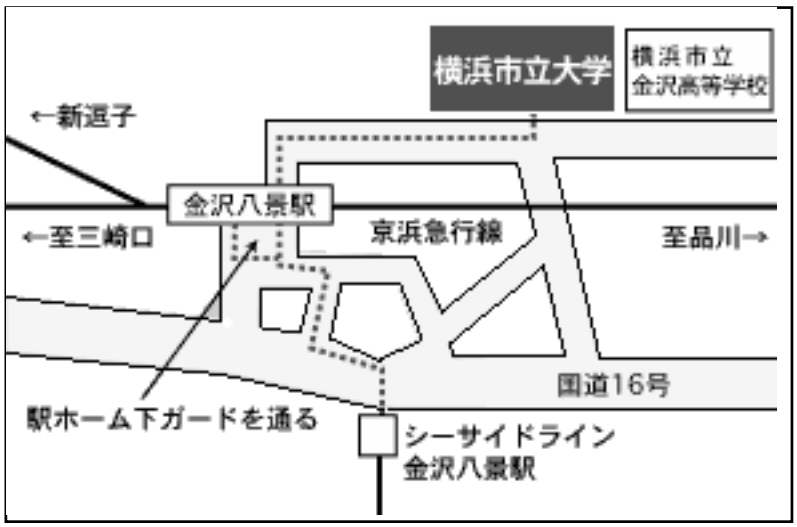
〈講演者の略歴〉

1944年福岡県生まれ。東京理科大学・法政大学卒業。法政大学大学院修士課程修了。鹿児島国際大学教授を経て03年4月より現職。著書『日本人の賃金』（平凡社新書, 1999年）、共著『講座 現代日本３ 日本社会の再編成と矛盾』（大月書店、1997年）など、他論文多数

参加費　無料
（但し、資料代等の実費をカンパしていただく場合あり）

会社の作ったバリケードの前に座り込む全自日産分会の組合員

日時：2003年4月26日(土）14時より
場所：横浜市立大学瀬戸キャンパス
ビデオホール
京浜急行電鉄「金沢八景駅」徒歩5分
（下記地図参照）



主催
全自・日産争議50周年記念シンポジューム実行委員会
実行委員長：中村秀弥（全自初代委員長）

連絡先
吉田誠（横浜市立大学 商学部教員）
Tel: 045-787-2102
E-mail: myoshida@yokohama-cu.ac.jp